

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●安田記念ではロゴタイプが逃げ切りのV

6月5日(日)の安田記念(G I)ではロゴタイプ(牡6歳/美浦・田中剛厩舎)が逃げ切りで優勝、2013年皐月賞以来約3年2か月ぶりとなるG I制覇を果たしました。JRA・G I勝利から次のJRA・G I勝利までの間隔としては、2002年安田記念のアドマイヤコジーン(1998年朝日杯3歳S以来約3年半ぶり)に次ぐ史上2位の記録。また1984年のグレード制導入以降、安田記念の逃げ切り勝利は1988年のニッポータイオー以来2頭目のこととなります。

●重賞ウイナー3頭の競走馬登録抹消

2011年朝日杯フューチュリティS(G I)の勝ち馬アルフレード(牡7歳/美浦・手塚貴久厩舎)は左前浅屈腱炎を発症していることが判明し、6月2日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は16戦3勝で、今後は北海道苫小牧市のノーザンホースパークで乗馬となる予定です。2012年・2013年トヨタ賞中京記念(G III)の勝ち馬フラガラッハ(牡9歳/栗東・松永幹夫厩舎)は6月8日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は41戦8勝で、今後は乗馬となる予定ですが繋養先は未定です。2015年小倉記念(G III)の勝ち馬アズマシャトル(牡5歳/栗東・加用正厩舎)は、6月9日(木)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は18戦4勝で、今後は滋賀県甲賀市の甲賀ファームで乗馬となる予定です。

●今年も全国ポニー競馬選手権「ジョッキーベイビーズ」開催

乗馬に励む子供たちにとっての夢舞台として定着した全国ポニー競馬選手権「第8回ジョッキーベイビーズ」が開催されます(出場資格は小学4年生から中学1年生)。6月18日(土)の沖縄地区代表選考会を皮切りに、全国8地区(北海道・東北・新潟・関東・長野・東海・関西・九州、沖縄)で代表決定戦・選考会を実施。代表に選出された8名は、10月9日(日)の東京競馬場、毎日王冠(G II)当日の最終レース終了後に開催される決勝大会へと進みます。また、今年も長谷川町子美術館とのコラボレーションにより、決勝大会には国民的人気キャラクター「サザエさん」が登場する予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ダノンレジェンドが北海道スプリントCで7度目の重賞制覇

北海道スプリントC(Jpn III、6月9日、門別、1200m)は、差のない2番手を追走した単勝1.6倍で断然人気のダノンレジェンド(ミルコ・デムーロ騎手、牡6歳、父マツショウノ)が、逃げた2番人気のノボバカラを直線の競り合いでハナ差退けました。3番人気のスノドラゴンが3着、レーザーバレットは5着でした。

●ソウル遠征の大井所属馬はキモンアヴァロンの5着が最高

SBS韓日T(韓国ローカルG III、3歳以上、6月5日、ソウル、1200m)は、3番人気の韓国のパーディドポメロイ(釜山)が逃げ切っで優勝。大井勢はキモンアヴァロンが5着、2番人気のドレッドノートは7着、ベストウィッシュは11着でした。

●東京ダービー(大井)はバルダッサーレ【各地の主要3歳重賞】

東京ダービー(6月8日、大井、2000m)は、JRAから大井への移籍緒戦となった3番人気のバルダッサーレ(牡、父アンライバルド)が、後ろから2頭目という位置から向正面で一気に追い上げ、3コーナー過ぎに抜け出すと、7馬身差の圧勝を収めています。

●ディーズプラネットらが参戦、6月15日の関東オークス(川崎)

関東オークス(Jpn II、3歳牝馬、川崎、2100m)は、オープン特別勝ちのあるディーズプラネット、Jpn III・2勝も今年はやや不振のタイニードンサー、プライトリビング、アルセナーレの順に有力視されます。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●第237回英ダービー～アイルランドのハーザンドが快勝

英ダービーは6月4日、エプソム競馬場に16頭を集めて争われ、3番人気のハーザンド(牡3歳、父シーザスターズ)が中位の馬群の中から残り1mで抜け出しました。これで4戦3勝、G I初勝利。勝利騎手P.スマレン、調教師D.ウエルド(愛)、馬主アガ・カーン4世。芝12¹/₂10¹/₂(約2410m)、稍重の勝ちタイムは2分40秒09。2戦2勝で1番人気のユーエスアーミーレンジャー(A.オブライエン厩舎)は後方から伸び、1馬身¹/₂差の2着。この前日の英オークスは、断然人気のマインディング(牝3歳、父ガリレオ)が快勝し、英1000ギニーを含めG I・4勝目です。勝利騎手R.ムーア、調教師A.オブライエン(愛)。

●仏ダービー～人気薄の地元フランス馬アルマンゾルが優勝

シャンティイ競馬場で6月5日に行われた仏ダービーのジョッキークラブ賞(芝2100m)は、単勝20.6倍のアルマンゾル(牡3歳、父ウートンバセット)が中位の最内追走から抜けました。勝利騎手J.エイケム、調教師J.ルジェ。これで7戦5勝、G I初勝利。